

荊野辺総合病院

地域連携NEWS

メディカルサポートセンター
地域医療連携課

病院と地域との懸け橋をめざして

訪問診療センター 津保 雅彦

当院では、2012年3月より訪問診療を開始し、平成2013年4月に訪問診療センターとなりました。2023年3月で、12年目を迎えます。

施設を中心とした訪問診療を行い、対象施設は、有料老人ホーム（介護付きまたは住宅型）をはじめ、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅などで、定期的な訪問診療を実施しております。訪問診療に携わる医師は、自分を含め、現在4名で、常勤医3名と非常勤医1名があたり、専門科目は3名が整形外科、1名が内科となっています。訪問に際しては、医師、看護師、事務員が、訪問診療専門車両3台で、月曜日から土曜日まで、土曜日以外は午前午後を通じて訪問診療にあたっています。訪問患者の急変時には緊急往診に向かうこともあり、施設で最期を迎えるケースもあり、訪問医が施設に赴き、看取りもしています。



病院からの訪問診療では、必要に応じて病院の専門医による診療及び検査がスムーズに受けられることができ、カルテは病院と共有しているため、病院内で行った診療・検査結果などを訪問医が確認することもできます。更には、夜間・休日などの緊急対応については24時間・365日、訪問医と施設職員とが常に連絡が取れる体制を整えており、急変した場合は訪問医が病院の担当の医師に直接連絡をすることで、よりの確な診療をすることができます。最近では、高齢化に伴い、認知症をお持ちの方で、専門医の診察を必要とするケースも増えており、非常勤の精神科医による訪問診療も行っております。

施設に入所され、訪問診療を開始する際には、前医よりの診療情報提供書をいただき、これをもとに以後の訪問診療へのスムーズな移行も可能となっており、前医の通院を続けながら、並行して、訪問診療をさせていただくケースもあります。

今後も、地域の医療機関のご協力を仰ぐこともあると思われれます。その際は宜しくお願いいたします。

